平成29年度 事業報告

目 次

- ◎ 平成 29 年度外国人旅行者の概況
- ◎ 事業実施状況
- I 公益目的事業
- 1 海外からの旅行者誘致に関する事業
 - (1) 観光マーケティング事業
 - (2) 新しいアイコン等を活用した海外PR
 - (3) オリンピック・パラリンピックを契機とした東京観光PR
 - (4) 平昌冬期五輪を活用したPR
 - (5) 欧米豪を中心とした富裕層向けプロモーション
 - (6) 東京観光レップの運営
 - (7) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業
 - (8) 有望市場におけるプロモーション事業
 - (9) 東京からの日本の魅力新発見事業
 - (10) 地方連携参画型広域プロモーション
 - (11) 「東京圏大回廊」を活用した観光振興事業
 - (12) ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業
 - (13) 海外青少年の教育旅行受入促進事業
 - (14) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大等

2 コンベンション誘致に関する事業

- (1) MICE 連携推進協議会の運営
- (2) ビジネスイベンツのマーケティング調査・分析等業務
- (3) 国際会議誘致·開催支援事業
- (4) MICE 受入環境整備事業
- (5) 企業系ビジネスイベンツの誘致開催支援事業
- (6) 展示会・イベント誘致・開催支援事業
- (7) ビジネスイベンツ情報発信
- (8) ビジネスイベンツプロモーション基盤の構築
- (9) ユニークベニューの利用促進事業
- (10) ユニークベニュー受入環境整備のニーズ調査
- (11) 都立施設におけるユニークベニュー利用促進事業
- (12) MICE 拠点育成支援事業
- (13) 都市間連携によるビジネスイベンツ誘致の推進
- (14) MICE 専門人材育成事業

3 地域の観光振興に関する事業

- (1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興
- (2) 魅力を高める観光資源の開発
- (3) 観光まちづくりの支援事業の実施

- (4) 東京フィルムコミッション「東京ロケーションボックス」
- (5) 東京シティガイド検定の実施
- (6) 被災地応援ツアーの実施
- (7) 受入環境インフラの整備

4 観光情報の発信に関する事業

- (1) 東京ブランドの推進事業
- (2) ウェブサイトによる情報発信
- (3) SNS による情報発信
- (4) ウェルカムカードの製作
- (5) 東京観光情報センター等の管理運営
- (6) 広域的な観光案内拠点及び東京観光案内窓口の運営支援
- (7) 観光ボランティアの管理運営
- (8) おもてなし親善大使育成塾
- (9) 東京マラソン応援観光マップの作成・臨時観光案内所の設置運営
- (10) マラソン祭りフォトコンテストの実施
- (11) 多言語メニュー作成支援ウェブサイトの運営
- (12) TCVB 活動の広報に関する事業

5 会報発行事業

- (1) 会報等の発行
- Ⅱ 収益事業
- 1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業
- 2 ガイドマップ等の販売事業
- 3 東京シティガイド検定 公式テキスト・過去問題等の販売事業
- Ⅲ その他事業
- 1 TCVBミーティングの開催
- 2 賛助会員情報交換会の開催

平成29年度事業報告

◎ 外国人旅行者の概況

日本政府観光局(JNTO)統計によると、平成29年の訪日外国人旅行者数は2,869万1千人で、過去最高であった前年の2,403万9千人を465万人余り上回り、JNTOが統計を取り始めた1964年以降、最多の訪日者数となった。

また、東京都の調査によれば、平成 29 年の訪都外国人旅行者数は過去最多の 1,377 万人で、対前 年比 5.1%の増加となった。

◎ 事業実施状況

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

(1) 観光マーケティング事業 〈東京都受託事業〉

訪都外国人旅行者誘致の効果について、22 市場(欧米豪、東アジア、東南アジア)において成果指標 KPI (Key Performance Indicator) を活用して、今後の効果的なプロモーションに向けて、調査・分析を行った。あわせて、平成 28 年度観光プロモーションを実施した成長開拓市場(インド)において、その効果検証を行った。

(2)新しいアイコン等を活用した海外PR < 東京都受託事業>

東京の「宝物」など東京の魅力を絞り込み、効果的に世界の旅行者に訴求させるため、新たに作製した「Tokyo Tokyo Old meets New」というアイコン・キャッチフレーズを活用し、東京の魅力を海外に効果的に発信し、訪都旅行者の増大を図った。

(3) オリンピック・パラリンピックを契機とした東京観光PR <東京都受託事業>

オリンピック・パラリンピック開催決定の機会を捉え、観光目的地としての東京の認知度を更に向上させるため、オンライン広告の掲出やテレビCMの放映等の実施に加え、東京観光レップを活用し、海外の一般市民に対して、東京の魅力を効果的にPRした。

ア オンライン広告

Google、Youtube 等を活用したオンライン広告の実施、CNN、Economist 1843、及びトリップアドバイザーと連携した特設サイトを構築し、東京ブランドのPRを実施した。

イ テレビCMの放映等

CNN、ナショナルジオグラフィック、及び米国地上波の CBS といったテレビ局のネットワークを利用し、世界において東京ブランドのテレビ CMを放映した。

ウ 東京観光レップを活用したプロモーション展開

北米4都市(ロサンゼルス・サンフランシスコ・ニューヨーク・トロント)、欧州5都市(ロンドン・ミュンヘン・ミラノ・マドリード・パリ)、豪州1都市(シドニー)、アジア2都市(北京・ソウル)の計12都市に設置した東京観光レップを活用して、現地の一般市民に対して東京観光

の魅力を訴求した。

(4) 平昌冬期五輪を活用したPR 〈東京都受託事業〉

平昌冬期五輪の注目度を活用し、現地において東京ブランドを前面に押し出したPRを行い、東京ブランドの認知度を高め、訪都旅行者の更なる拡大を図った。

(5) 欧米豪を中心とした富裕層向けプロモーション < 東京都受託事業 >

より多くの観光消費が期待できる富裕層を対象に、欧米豪を中心とした富裕層において、東京都として狙うべきターゲットの設定を行った。併せて、東京観光レップ (パリ・ニューヨーク) を活用した富裕層市場に対するプロモーションを行った。

(6) 東京観光レップの運営 〈東京都受託事業〉

全 12 都市に設置した東京観光レップを通じて、メディア及び現地旅行事業者に対するセールス活動や情報提供等を行った。また、全レップを東京に一堂に集め、東京の観光事業者向けに、海外市場セミナー及び市場別相談会を 1 回開催した。(平成 29 年 5 月 24 日)

(7) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業 〈東京都負担金事業〉

ア 旅行博等への出展等

民間事業者等と連携して、アジアでは中国、韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、マレーシア、ベトナム及びインドネシアに、欧米豪では、イギリス、ドイツ、スペイン、アメリカ、フランス、カナダ、イタリア及びオーストラリアの国際旅行博覧会等に出展し、東京観光情報の提供及びPRを行った。また一部の地域では、旅行博等の実施時期に合わせて観光セミナーも実施した。

・中国 China (Guangdong) International Tourism Industry

Expo 2017 (平成 29 年 9 月 8 日~10 日)

・韓国 ハナツアー旅行博覧会(ソウル)(平成29年6月8日~11日)

・台湾 ITF (平成 29 年 10 月 27 日~30 日)

・香港 International Travel Expo Hong Kong(平成 29 年 6 月 15 日~18 日)

・シンガポール Travel Revolution (平成 29 年 8 月 4 日~6 日)

・タイ TITF#21 (平成 29 年 8 月 10 日~13 日)

・マレーシア MATTA Fair (平成 30 年 3 月 16 日~18 日)

・ベトナム International Travel Expo Ho Chi Minh City 2017

(平成29年9月7日~9日)

・インドネシア Garuda Indonesia Travel Fair 2017 (平成 29 年 9 月 22 日~24 日)

・イギリス WTM London (平成 29 年 11 月 6 日~8 日)

・ドイツ ITB Berlin (平成 30 年 3 月 7 日~11 日)

・スペイン FITUR (平成 30 年 1 月 17 日~21 日)

・アメリカ Los Angeles Travel and Adventure Show 2018

(ロサンゼルス) レップ出展 (平成30年2月24日・25日)

New York Travel Festival

(ニューヨーク) レップ出展(平成29年4月22日・23日)

JPop Summit

(サンフランシスコ) レップ出展 (平成 29年9月9日・10日)

・フランス パリ国際旅行博 (SMT) (パリ) レップ出展 (平成 30 年 3 月 15 日~18 日)

・カナダ モントリオール旅行博 (SITV) (平成 29 年 10 月 20 日~22 日)

バンクーバー旅行博 (OASV) (平成30年3月3日・4日)

両方とも(トロント)レップ出展

- ・イタリア TTG INCONTRI(ミラノ)レップ出展(平成 29 年 10 月 12 日~14 日)
- ・オーストラリア Travel Expo Brisbane 2018

(シドニー) レップ出展(平成30年2月3日・4日)

イ 民間企業とのジョイントプロモーション

アジア及び欧米豪地域において、現地一般市民等に対し東京の魅力をPRするため、民間事業者との共同によるジョイントプロモーションを実施した。

<アジア>

・連携企業株式会社ぐるなび

・内 容 台湾において食文化の実体験を通して東京の魅力を PR する「JAPANESE RESTAURANT WEEK-TOKYO」を実施

・期 間 平成 29 年 11 月 29 日~12 月 19 日

<欧米豪>

· 連携企業 株式会社資生堂

・内 容 フランスにおいてメイクを通して東京の魅力を PR する「Tokyo Looks」プロモーションを実施

期間 平成30年3月

ウ パンフレットの制作

アジア及び欧米豪地域の一般市民や海外旅行事業者等を対象としたパンフレットを制作し、 旅行博等で配布した。

- ・アジア向け(英語、簡体字、繁体字、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語)
- ・欧米向け(英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語)

エ 東京ニュース (Tokyo Monthly) の配信

欧米豪地域のメディアや旅行事業者を主な対象として、東京の最新ニュース等を定期的に配信した。(年間 12 回、各月)

オ 東京観光レップ主催、旅行事業者向けセミナーの実施

欧米豪地域において、リテーラー(販売事業者)等を集め、東京の魅力や最新情報を伝えるセミナーを開催した。

・セミナー実施件数:15件

カ 海外メディア招聘

海外から東京に取材に来る新聞、雑誌、テレビ等のメディアに対して、情報提供等サポートを 行い、東京の魅力的な記事や映像の作成を働きかけた。

・メディア招聘件数:59件(アメリカ、フランス、台湾、韓国等)

キ 海外旅行事業者招聘

訪都旅行商品の造成や販売の促進を図るため、レップ設置国の旅行事業者を招聘・サポートし、東京の魅力をPRした。

·旅行事業者招聘件数:9件

(8) 有望市場におけるプロモーション事業 〈東京都受託事業〉

ア ロシアにおける観光プロモーション

訪日旅行者数の更なる増加が期待できるロシアにおいて、旅行事業者・メディアなどを対象 に、商談会や観光セミナーを実施した。 ・都内事業者参加社数 : 15 社・メディアセミナー集客 : 39 社・旅行会社セミナー集客 : 58 社

イ フィリピン、インドにおけるフォローアッププロモーション

平成 27 年度、28 年度に観光プロモーションを実施した、フィリピン及びインドにおいて、現地旅行博に出展するとともに、観光セミナーを実施した。また、東京への旅行商品造成に意欲的な現地旅行事業者を招聘し、東京の観光魅力を体験してもらうとともに、都内事業者等との商談会を開催した。

・フィリピン Travel Tour Expo 2018 出展(平成 30 年 2 月 9 日~11 日)

東京観光セミナー開催(平成30年2月13日(マニラ)・14日(セブ))

・インド SATTE 2018 出展(平成 30 年 1 月 31 日~2 月 2 日)

東京観光セミナー開催 (平成30年2月1日(デリー))

・現地旅行事業者招聘:10社10名(フィリピン5社、インド5社) 平成29年11月26日~12月1日

(9) 東京からの日本の魅力新発見事業 <東京都負担金事業>

東北6県・仙台市、中国・四国地域9県、九州地域7県及び航空・鉄道事業者と連携し、各地域の強みを生かした東京を基点とする観光ルートの設定、共同招聘旅行及びメディアを活用した情報発信を行い、多様な訪日旅行の新たな魅力を海外に向けて広く発信した。

ア 観光スポット等の選定及び観光ルートの設定

都内から各地を繋ぐ、外国人旅行者が公共交通機関を利用して旅行できる魅力的なルートスポットを選定し、観光ルートを設定した。

イ 観光ルートを用いた共同招聘旅行の実施

ターゲット対象国を各自治体の意向を基に決定し、対象国の外国人に発信力と影響力のある 海外在住外国人及び在京外国人を選定し、招聘旅行を実施した。

- ウ 多様なメディアを活用した観光スポット、観光ルート及び交通利便性等の情報発信
 - ・KYUSHU×TOKYOサイトの新設 http://www.kyushuandtokyo.org
 - ・被招聘者による情報発信
 - ・記事広告、オンライン広告等の実施
- エ 東京と中国・四国各地の魅力を訴求するための360°動画を制作してYouTube上に公開
 - ·制作本数:23本
 - ・オンライン広告の実施

(10) 地方連携参画型広域プロモーション <東京都受託事業>

増加する個人旅行者の多様なニーズに対応し、東京と他自治体との連携による観光立国実現へ 寄与するため、共同でのプロモーション事業を実施した。

· 連携自治体:石川県、宮城県、山梨県外 16 道府県等

(11)「東京圏大回廊」を活用した観光振興事業 <東京都負担金事業>

東京都心部に一極集中する外国人観光客の受入れ状況を変え、関東やこれに隣接する各県まで広域的にその効果を拡大させるべく形成された広域関東周遊ルート「東京圏大回廊」を活用し、ウェブサイトの制作や商品造成等を行い、当該ルート等の認知・普及などを促した。

(12) ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業

首都圏を訪れる訪日旅行者を増やし、かつ回遊性を高めて域内に長く滞在してもらうため、首都圏各地域及び交通機関等の民間事業者と連携して、在日外国人ライターが制作した旅行記事を集めたウェブサイト「STEP INTO GREATER TOKYO」を既存の集客力のある旅行関連サイト内に開設。同時に、オンライン広告でサイトへ誘導し、"Greater Tokyo"としての魅力を訴求した。(サイト言語:英語、繁体字、タイ語)

(13) 海外青少年の教育旅行受入促進事業 〈東京都受託事業〉

都内の学校関係者への学校交流受入説明会の開催や個別訪問をはじめ、受入意識調査の実施を 基に受入窓口の運営を行い、海外青少年の教育旅行の受入を促進した。また、有望市場で実施され る商談会等に参加し、現地教育関係者や旅行事業者へPRを行った。

- ア 受入意識調査の実施(回答数 312件(高校、教育委員会))
- イ 都内学校関係者への学校交流受入説明会の実施(2回)
- ウ 個別説明の実施(10校)
- エ 学校交流の実施・支援(43件)
- オ 台湾: 「平成 29 年度台湾における訪日教育旅行促進事業 現地説明会」参加 (平成 29 年 6 月 20 日 \sim 22 日)

アメリカ:「The 2017 ACTFL Annual Convention and World Language Expo」参加 (平成 29 年 11 月 17 日~19 日)

オーストラリア: 「Saizen Tours とのコラボレーションによる訪日教育旅行促進事業現地説明会」実施(平成 29 年 11 月 2 日 (ケアンズ)・3 日 (ゴールドコースト))

(14) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大

ア ニュースレターの発行

中国、韓国、台湾、香港、東南アジアの旅行博やセールスコール等で交流のあった現地旅行事業者やメディア等へ、年4回東京の最新情報を発信した。

イ 各種セミナー・商談会等への参加

JNTO が実施する各市場別セミナーや VJ トラベルマート等の商談会へ参加し、市場動向の把握やネットワーク拡大を図った。

2 コンベンション誘致に関する事業

- 東京開催コンベンションの実績
 - ① 国内基準(「2016年国際会議統計」日本政府観光局(JNTO)データ)

 会議開催件数
 593 件

 国内都市別順位
 1 位

② 国際基準 (「国際団体連合 (UIA) 統計 2016」)

会議開催件数 225 件 国際都市別順位 6 位

(1) MICE 連携推進協議会の運営 < 東京都補助金事業>

国や関連事業者等の様々な関係主体が連携を図り、より効果的にビジネスイベンツを誘致・ 開催するため、MICE 連携推進協議会及び国際会議、企業系会議/報奨旅行、展示会、イベント の各部会を実施した(計10回)。合わせて関連事業者や都民にビジネスイベンツ誘致・開催の 意義や重要性等の普及啓発を図るシンポジウムを開催した。

・東京都 MICE シンポジウム 2018

開催日: 平成30年1月18日(木)

会場:東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井カンファレンスメインルーム

(2) ビジネスイベンツのマーケティング調査・分析等業務 <東京都受託事業>

ア 国際会議のマーケティング調査・分析

海外諸都市との熾烈な国際競争を勝ち抜き、国際会議誘致の増進を図るため、国際会議のセグメントにおいて、海外諸都市の事例調査・分析、主催者ヒアリング等の調査を実施し、東京における今後の国際会議誘致のためのマーケティング施策見直しに活用するための情報収集を行った。

イ KPIによる効果測定(企業系ビジネスイベンツ、国際会議、展示会・イベント) 企業系ビジネスイベンツ、国際会議及び展示会・イベントの具体的施策を測定するために設 定された KPI について、測定を行った。

ウ 特定分野調査

ビジネスイベンツ開催にあたり必要となるセキュリティ対策や環境配慮への取り組み等について調査・分析し、ビジネスイベンツ参加者の安全・安心の確保やサステナビリティ対応の促進に関する必要な施策について検討を行った。

- (3) 国際会議誘致・開催支援事業 <一部東京都受託・補助金事業>
 - ア 国際会議誘致支援
 - ① 誘致マーケティング活動
 - ・開催意向調査の実施

国内の学会・協会事務局及び東京近郊の大学キーパーソン 4,552 人に対し、開催意向調査を 実施した。

会議主催者への誘致活動

開催の可能性のある国際会議の国内対応団体等に対し、コンベンション開催に必要な情報 (会議施設、宿泊施設、アフターコンベンション情報、支援策等)を積極的に提供し、東京へ の誘致に努めた。

・国内見本市への共同出展

京王プラザホテルで開催された「第 27 回国際 MICE エキスポ (IME 2018)」(平成 30 年 2 月 28 日) に出展した。

・国内都市選定時の誘致活動

国内都市選定の際に、「コンベンション都市・東京」の優位性をアピールしたプロポーザルの作成やプレゼンテーションを実施した。

- ② 誘致プロモーション活動
 - ・海外会議主催者等の視察支援

平成 29 年 12 月 10 日~12 日 国際医学会系会議主催者 2 名 平成 30 年 2 月 13 日~16 日 国際技術系会議主催者 2 名 平成 30 年 3 月 19 日~24 日 国際医学系会議主催者 1 名

・開催決定への支援活動

東京での開催を前提として立候補した大型国際会議について、ビッドペーパー(立候補書類)等の誘致ツール作成支援のほか、海外での総会等において東京での開催をアピールした。

③ 学術系国際会議誘致促進支援 〈東京都補助金事業〉

東京都内の主要大学における医学部・工学部と連携し、誘致案件の掘り起こしを行った。連携先の学部・研究所の教授や研究者に向け、実務サポート体制を構築し、誘致活動のノウハウや財団支援内容に関するセミナーを実施した。さらに、連携先の教授・研究者に対し、立候補から開催地決定までの誘致活動に関する実務支援(立候補書類の制作補助、プレゼンテーションへの同行等)を行った。

連携大学は下記3校を含む6校。

- 慶應義塾大学医学部
- 東京工業大学
- · 東京女子医科大学 等

イ 国際会議開催支援

① 参加促進への支援活動 〈東京都受託事業〉

東京開催が決定した大型会議の前回大会において、東京ブースを設置し、パンフレット等を 配布することにより東京の魅力をアピールした。

・第21回国際栄養学会議(ICN)

会期: 平成29年10月15日~20日

会場: Sheraton Buenos Aires Hotel & Convention Center (アルゼンチン・ブエノスアイレス)

② 開催運営への支援活動

東京開催が決定した国際会議に、宣伝ツールの提供、観光や文化体験プログラム等に関する情報の提供、会議運営に関する情報の提供などを行った。

③ 国際会議開催支援プログラム 〈東京都受託事業〉

東京の魅力を PR し参加者の満足度を高め、再来訪につなげるとともに、ロコミ効果など、参加者を通じた観光プロモーションによるインバウンドの促進を図るため、東京で開催された以下の大規模国際会議に対し、ホスピタリティチームの派遣、フラッグ等の掲出、都内観光ツアーの実施や日本文化体験プログラム、テクニカルツアーの提供等を行った。

· Global Summit of Women

会期:平成29年5月11日~13日

会場:東京国際フォーラム

ウ 国際会議誘致・開催資金助成等事業 <東京都出資金事業>

① 国際会議誘致支援事業

東京都内で国際会議の開催を予定する2団体に対し、誘致活動経費の一部を助成する誘致 助成金を交付した。

② 国際会議開催助成事業

コンベンション開催助成の交付対象会議として、16件の国際会議が登録され、15件の開催 地が東京に決定した。

- ・2023 年応用数理国際会議 (3,000 名)
- ・国際研究皮膚科学会 (2,500 名) 等

③ 国際会議立上準備資金助成事業

東京において新たに国際会議の立上げを計画する主催者に対し、立上げに要する経費の一部を助成し、東京における立上げ型国際会議の開催を促進するための広報活動を行った。

④ 立上げ型国際会議開催資金助成事業

主会場を東京都内として新たに立ち上げる国際会議に対し、開催経費の一部の助成、及び開催時の支援を約束する制度を主催者等に案内し、東京における開催を促進するための広報活動を行った。

エ コンベンション統計事業

UIA/ICCA/日本政府観光局(JNTO)等が公表するコンベンション統計に用いるデータとして 提供するため、都内で開催されたコンベンションについて、会議名や主催者名、参加者数等の 調査を行った。

(4) MICE 受入環境整備事業 <東京都出資金事業>

国際的なビジネスイベンツの誘致を促進するにあたり、受入れに積極的な都内 8 施設に対し、施設機能強化を支援する助成を行った。

- (5) 企業系ビジネスイベンツの誘致開催支援事業 <一部東京都受託・補助金事業> ア 海外トレードショーへの出展
 - ・フランクフルト MICE 見本市 (IMEX) (平成 29 年 5 月 16 日~18 日)
 - ・ラスベガス MICE 見本市 (IMEX America) (平成 29 年 10 月 10 日~12 日) ※民間事業者 4 社と共に出展
 - ・シンガポール MICE 見本市(ITB Asia)(平成 29 年 10 月 25 日~27 日)
 - ・バルセロナ MICE 見本市(ibtm world)(平成29年11月28日~11月30日)

イ 企業系ビジネスイベンツ誘致支援事業 <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している6件の企業系ビジネスイベンツ主催者に対し、視察時の渡航費や滞在費を補助するとともに、視察団のニーズを踏まえた視察のコース設定や都内サプライヤーの紹介などを行った。

- ・化粧品会社ミーティング(1,100 名予定・グローバル)
- ・保険会社インセンティブツアー (350 名予定・スペイン) 等

ウ 企業系ビジネスイベンツ開催支援事業 *<東京都補助金事業>*

東京での開催を検討している 39 件の企業系ビジネスイベンツ主催者に対し、ギブアウェイやパーティーへのアトラクション派遣、空港等での出迎えの提供を提案し、実施した。

- ・経営コンサルティング企業インセンティブツアー(1,597名・グローバル)
- ・保険会社インセンティブツアー(1,307名・香港)等

エ 企業系ビジネスイベンツ開催支援メニュー開発 <東京都受託事業>

海外のミーティングプランナー等と連携し、海外競合都市や国内他都市との差別化を意識した東京ならではの特別感のあるメニューを開発した。

- (6) 展示会・イベント誘致・開催支援事業 *〈東京都補助金・出資金事業〉*
 - ア 展示会における海外参加促進支援(国際化支援)

東京で開催される展示会へのインバウンド増加を促進するため、4件の展示会に対してブース 出展費や多言語パンフレット製作費の助成及び観光 PR リーフレット提供等の支援を行った。

・JIMTOF2018 第 29 回日本国際工作機械見本市 (海外 PR 展示会: METALEX2017 〈タイ・バンコク〉) 他 3 件

イ イベント誘致・開催資金助成

① イベント誘致資金助成

国際イベント誘致を目指す国内対応団体等に対して、誘致活動経費の一部を助成し、東京への誘致を促進するための広報活動を行った。

② イベント開催資金助成・開催支援

国際イベント開催助成の交付対象イベントとして、1件の国際イベントが登録され、当該1件の開催地が東京に決定した。

③ 国際イベント立上げ資金助成

東京都内で国際イベントの立ち上げを計画する 1 団体に対し、立上げに要する経費の一部を助成する準備助成金を交付した。

④ 立上げ型国際イベント開催資金助成

主会場を東京都内として新たに立ち上げる国際イベントに対し、開催経費の一部を助成し、東京における開催を促進するための広報活動を行った。

(7) ビジネスイベンツ情報発信 <一部東京都補助金事業>

ア コンベンション開催情報発信

国内外の主催者・プランナーに対して、東京でのコンベンション開催に必要な情報や東京の都市の魅力に関する情報をよりわかりやすく提供するため、ウェブサイト「BUSINESS EVENTS TOKYO」をリニューアルオープンした。また、海外のプランナーやプレスに対して「Business Events Tokyo eNewsletter」を年4回配信するとともに、プレスリリースも行った。

イ 企業系ビジネスイベンツ販促ブックレットの作成 *<東京都補助金事業>*

企業系ビジネスベンツの目的地としての東京を PR し、ビジネスイベンツの誘致を促進することを目的として、「東京で学ぶ」をテーマにプログラム等を紹介するブックレットを 600 部 作成するとともに USB900 個を用意し、海外トレードショーで配布したほか、ミーティングプランナー・主催企業や関係事業者に広く配布した。

ウ 広告掲載による PR 強化 *〈東京都補助金事業〉*

企業系ビジネスイベンツの目的地としての東京を PR する広告デザインを制作し、以下のビジネスイベンツ専門誌やトレードショーのバイヤー向けウェブサイトに掲載、開催地としての東京の魅力を PR した。

・IMEX Frankfurt 平成29年4月(1ヶ月間)

・IMEX America 平成 29 年 10 月 (1 ヶ月間)

Cei 6月号、2・3月号

• Mix 6・7 月号、10・11 月号

・TTG MICE 9月号、2・3月号

エ MICEファムトリップ

開催地決定に大きな影響力をもつ国際団体本部キーパーソン(国際会議)や開催候補地の提案等を行う立場にあるコア PCO(国際会議)、ミーティングプランナー(企業系ビジネスイベンツ)に対するファムトリップを行い、MICE 開催都市東京の魅力を伝えるとともに、都内関連事業者とのビジネスマッチングを行うことで、東京での MICE 開催を促進した。

- ・国際団体本部/コア PCO (国際会議):3団体/社5名
- ・ミーティングプランナー(企業系ビジネスイベンツ): 28 社 29 名
- オ 海外ミーティングプランナーとのネットワーク構築 *< 東京都補助金事業>* 海外ミーティングプランナーが加盟する組織等と連携し、現地における誘致案件や優良顧客

情報を収集して、現地での東京 PR を実施した。

カ 訪問営業(セールスコール・ロードショー)の実施 <東京都補助金事業>

ビジネスイベンツ開催地としての東京の魅力を効果的に発信し、企業系ビジネスイベンツの掘り起こしを行うために、都内 MICE 関連事業者と連携して、ミーティングプランナー等への訪問営業を実施した。

- 訪問都市:ロンドン、デュッセルドルフ、ワルシャワ
- キ ビジネスイベンツプロモーション映像制作 <東京都補助金事業>

ビジネスイベンツ開催地としての東京の魅力を効果的に発信するために、イベントと展示会 それぞれの特性及び訴求対象を踏まえたうえで、主催者及び参加者向けのプロモーション映像 を制作した。

ク MICE 概要・事業紹介パンフレットの作成 <東京都補助金事業>

都内 MICE 関連事業初心者及び都民に向けた MICE の普及啓発を目的に、MICE の概要と開催の利点、東京都の施策等をわかりやすく説明したパンフレットを作成し、MICE シンポジウムや都内大学、TCVB が主催するイベント等で配布した。

ケ MICE 拠点育成支援エリア PR 事業 〈東京都補助金事業〉

平成 26 年度に MICE 拠点育成支援エリアに指定された丸の内・六本木・臨海副都心の 3 エリアを国内外の MICE 主催者等に PR するため、各エリアの主要施設やこれまでの MICE 関連イベントの開催実績、海外のミーティングプランナーの視点を持った MICE ライターによる寄稿記事等が掲載されたウェブサイトを作成した。

(8) ビジネスイベンツプロモーション基盤の構築 〈東京都補助金事業〉

海外他都市との熾烈な国際競争を勝ち抜き、国際会議誘致を拡大するため、誘致に積極的に取り組む海外主要都市のコンベンション・ビューローで構成される国際的なアライアンス組織「ベストシティーズ・グローバルアライアンス」(正式表記「BestCities Global Alliance」)に加盟し、各種情報収集や東京のプロモーションを行った。

(9) ユニークベニューの利用促進事業 〈東京都受託事業〉

ア ユニークベニュー利用促進プログラムの実施

都内のユニークベニューを利用してレセプション等を行ったビジネスイベンツ主催者(以下を含めた計5件)に対して、設営費等の補助、会場側との諸調整などの支援を行った。

· GSW 東京大会実行委員会

開催日: 平成29年5月11日

会 場:赤坂迎賓館

経営コンサルティング企業

開催日:平成29年5月23日 会 場:日本科学未来館 等

イ ユニークベニューの施設等状況調査 <東京都受託事業>

ユニークベニューの利用を促進するため、都内施設の現況調査や受入に向けた課題整理、 国内外の実施状況に関する事例調査を行った。また、ユニークベニュー活用による施設側のメ リット等を説明したユニークベニュー施設向けのパンフレットを作成した。

- ウ ユニークベニューPR パンフレット ユニークベニューとしての利用を広く PR するため、施設概要や利用料金、利用できるスペース等を紹介するパンフレットを作成した。
- (10) ユニークベニュー受入環境整備のニーズ調査 *<東京都受託事業>* 都内ユニークベニュー施設における設備の導入状況等を調査するとともに、ビジネスイベンツ の受入に関する課題等を整理し、今後の受入環境整備に資する検討を行った。
- (11) 都立施設におけるユニークベニュー利用促進事業 < 東京都受託事業 > 都立のユニークベニューを利用してレセプション等を行った以下 2 件のビジネスイベンツ 主催者に対して、設営費等の補助、会場側との諸調整などの支援を行った。

• 旅行会社

開催日: 平成 29 年 10 月 7 日 会 場: 浜離宮恩賜庭園 ・ファッションブランド

開催日:平成29年11月17日会場:東京都庭園美術館

- (12) MICE 拠点育成支援事業(東京ビジネスイベンツ先進エリア支援事業) <東京都出資金事業> 東京都が指定した以下の東京ビジネスイベンツ先進エリア及び多摩ビジネスイベンツ重点支援エリアにおいて、ビジネスイベンツ開催及び誘致能力を向上させるため、国際会議主催者等のニーズを踏まえた助言、提案等の支援を行った。
 - ・大手町・丸の内・有楽町エリア
 - ・六本木・赤坂・麻布エリア
 - ・臨海副都心エリア
 - ・日本橋・八重洲エリア
 - ・品川・田町・芝・高輪・白金・港南エリア
 - ・八王子エリア
- (13) 都市間連携によるビジネスイベンツ誘致の推進 〈東京都補助金事業〉

東京と異なる魅力を持つ国内の6都市と協力体制を構築し、共同でMICEの誘致活動等を実施した。企業系ビジネスイベンツでは連携都市と共同でミーティングプランナー向けファムトリップの実施等、国際会議では地方送客に向けたモデルコースの造成、PRツールの作成等を行った。

- 平成 29 年度連携都市: 札幌市、石川県、京都市、福岡市、名古屋市、沖縄県
- (14) MICE 専門人材育成事業 <東京都負担金事業>

MICE ビジネスのグローバルスタンダードを身につけた専門人材を育成するため、企業系ビジネスイベンツ、国際会議及び展示会・イベントの3分野に関する専門人材育成講座を有料で実施した。

前期 : 国際会議(全6回)

日程 : 平成 29 年 8 月 1 日~9 月 12 日

テーマ : 国際会議の誘致と開催~成功させるヒント~

前期 :展示会(全4回)

日程 : 平成 29 年 8 月 3 日~8 月 31 日

テーマ :展示会の国際化

・前期 : イベント (全2回)

日程 : 平成 29 年 9 月 7 日~14 日 テーマ : イベントの誘致・開催

・後期 : インセンティブツアー(全6回)

日程 : 平成 29 年 12 月 6 日~平成 30 年 1 月 24 日

テーマ : インセンティブツアー受入のためのおもてなし向上~東京 2020 大会開催

に向けて~

3 地域の観光振興に関する事業

(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興

ア 地域振興助成 〈東京都補助金事業〉

地域観光団体が実施する新たな観光魅力の発掘、観光資源開発など、観光振興に寄与する事業に対して、15件の助成を行った。

申請団体	事 業 名
三宅島観光協会	三宅島 OWS 大会 2017
江東区観光協会	ツーリズム EXPO ジャパン 2017 出展事業
東京諸島観光連盟	東京諸島リーフレット制作事業
大田観光協会	KAMATA MOVIES MUSEUM
府中観光協会	武蔵国府中大使を活用した特産品事業
立川観光協会	立川おもてなし指差しシート作成
青梅市観光協会	青梅市観光パンフレット作成事業
大多摩観光連盟 (共同出展)	大多摩管内温泉施設インバウンド PR ツールの作成
青梅市観光協会 (共同出展)	梅の里再生支援事業
渋谷区観光協会	タブレットサイネージアプリ
	" JOYinSHIBUYA の開発とタブレットの配備
中央区観光協会	東京マラソン EXPO2018
練馬区産業振興公社	練馬区内観光動態調査・分析事業
世田谷区産業振興公社	世田谷区の魅力を発信する観光ホームページの制作
中野区観光協会	多言語対応マップ作製事業
東京諸島観光連盟 (共同出展)	旅まつり名古屋 2018 出展事業

イ 東京トラベルマート、観光情報交換会の開催

① 東京トラベルマート

東京商工会議所との共催により、旅行商品の造成や最新観光情報の提供を目的とした商談会「東京トラベルマート」を開催した。

開催日: 平成29年8月23日

会場:東京商工会議所(丸の内二丁目ビル)3階会議室2・5・6・7

商 談 会:13:00~17:05 情報交換会17:15~18:30

出展団体:25社(旅行会社)

参加団体:49社(サプライヤー企業 39社、自治体・観光協会等 10団体)

②観光情報交換会

平成29年度は観光活性化フォーラム<東京都受託事業>の第2部として開催した。 (詳細はP22参照)

ウ 観光団体等との連携

① 日本観光振興協会

地方自治体や地域観光団体、観光関連企業等で構成される公益社団法人日本観光振興協会 の各種会合に参加し、情報交換を行うとともに、観光関係功労者表彰の推薦を行った。

- 〇 日本観光振興協会:総会 平成29年5月30日 (支部長表彰:東京諸島連盟 白井岩仁会長)
- 関東支部:評議員会 平成29年4月21日、総会 平成29年5月30日
- 関東ブロック広域観光振興事業推進協議会 平成29年4月21日、7月25日
- 関東甲信越静観光協会・連盟協議会:総会 平成29年4月21日、委員会7月6日~7日 (栃木県)、10月12日~13日(岐阜県)、平成30年2月23日(東京都大田区)
- 「ふるさと観光展 IN 仙台駅」出展 平成 29 年 9 月 13 日~15 日 16 団体資料等参加

② 地域団体との連携

地域観光団体等に対し情報提供を行うとともに、観光・地域振興について情報交換を行った。

- 〇 「ふるさと祭り東京 2018」(平成 30 年 1 月 12 日~21 日)に東京ロケーションボックスが出展し、支援作品の PR と区市町村のロケーションションボックスへの PR スペースの提供を行った。
- 「旅まつり名古屋 2018」(平成 30 年 3 月 17 日~18 日) に東京諸島観光連盟と連携して 出展し、広域的な観光案内を行った。
- 「ふるさと観光展 IN 仙台駅」(平成 29 年 9 月 13 日~15 日) に大多摩観光連盟及び東京 諸島観光連盟と連携して出展し、広域的な観光案内を行った。

③ 共催·協賛

・音楽祭の協賛

「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 2017」

日時:平成29年5月4日~6日 場所:東京国際フォーラム

主催:東京国際フォーラム

スポーツイベントへの協賛

「2017 WERIDE 三宅島 エンデューロレース」

日時: 平成 29 年 11 月 11 日~13 日 場所: 三宅島

主催:三宅島スポーツ振興会、三宅村

④ 後援

地域の観光協会等が主催する観光イベントや行事に対し、東京観光財団の後援名義を付して協力した。

- ○ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 「熱狂の日」音楽祭 2017
- ○アマチュア無線フェスティバル ハムフェア 2017
- ○アマチュア無線フェスティバル
- ○平成29年度第46回文京さくらまつり
- ○平成 29 年度第 48 回文京つつじまつり
- ○平成29年度第33回文京あじさいまつり
- ○平成29年度第32回文京朝顔・ほおずき市
- ○平成29年度第39回文京菊まつり
- ○平成29年度第61回文京梅まつり
- ○2017 上野東北フェスティバル
- ○GTF 東京みっけ **♪**2017
- ○Go Green Market TOKYO 2017
- OSTAR ISLAND
- ○第3回ドリーム夜さ来い祭り in ニューヨーク

- ○2017 新宿エイサーまつり
- ○ラーメン Show in Tokyo 2017
- ○東京国際プロジェクションマッピング 夏フェス 2017
- ○東京国際プロジェクションマッピング アワード vol.2
- ○ツーリズム EXPO ジャパン 2017
- ○東京マラソン 2018
- ○第56回文京区観光写真コンクール
- ○コンファレンスマスターシンポジウム
- ○J-CULTURE FEST/にっぽん・和心・初詣 2018
- ○杜の賑い・東京
- ○第16回ドリーム夜さ来い祭り
- ○東京ミチテラス 2017
- OGo Green Market TOKYO 2017 Fall
- ○Tokyo Shopping Week 2018 at Harajuku Omotesando & Takeshita St.

⑤ 委員会等への参加

財団役員等が観光関連団体等の委員等へ就任し、活動に参画した。

- ○観光立国推進協議会
- ○日本観光振興協会
- ○日本観光振興協会関東支部評議員会・関東 ブロック広域観光事業推進協議会・関東甲 信越静観光協会・連盟協議会
- ○一般社団法人日本経営協会通常総会
- ○一般社団法人大多摩観光連盟通常総会
- ○東京外かく環状道路 (関越道~湾岸線) 整備促進連絡会議
- ○ヘブンアーティスト運営実行委員会
- ○アジア舞台芸術祭実行委員会
- ○公益財団法人東京都公園協会評議員会
- ○一般社団法人墨田区観光協会理事会
- ○中央区観光検定委員会

- ○東京都立多摩総合医療センター治験審査委員会
- ○東京都地価動向調査委員会
- ○外国人対応支援マニュアル企画作成活用委員会
- ○一般財団法人東京マラソン財団理事会
- ○一般社団法人日本コングレス・コンベンション・ ビューロー理事会
- ○東京諸島観光連携推進協議会
- ○大田区観光推進連絡協議会
- ○東京観光タクシー推進協議会
- ○文京区アカデミー推進協議会
- ○多摩観光推進協議会幹事会
- ○公益財団法人東京都中央企業振興公社理事会

工 観光資源商品化支援事業 <観光振興基金事業>

都内各地域の観光資源のうち、旅行商品化を目指す観光資源に関する企画を募集し旅行商品の造成・販売等に向けた支援を実施した。今年度は着物のリメイク体験、工場見学・作業体験、食べ歩きツアーなど計7件の企画に対して、旅行商品化に向けた支援を行った。

(2) 魅力を高める観光資源の開発

ア 地域資源発掘型実証プログラム事業 <東京都出資金事業>

観光関連団体等が持っているアイディアと民間事業者が持つノウハウを組み合わせ、着地型 旅行商品の造成等により埋もれた観光資源を発掘・事業化することで、各地域において継続的な 取組が実施されるよう、以下計20件の事業を採択した。

※第一回採択案件:全て実施済み、第二回採択案件:平成30年9月末までに事業終了 平成29年度地域資源発掘型実証プログラム事業 第1回採択案件

	区分	企画件名	企画提案者
1		祝!重要有形民俗文化財「清瀬のうちおり」裂き織り体験	はたおり伝承の会
2		青梅杣保フェス	NPO法人 青梅吉野梅郷梅の里未来プロジェクト・畑中山の神森林組合
3		市民楽芸員が誘う五日市ミュージアム事業	五日市ごえん分校
4		日の出町訪日外国人向け体験型プログラム及び周遊ルートの造成	一般社団法人日の出町観光協会
5	単域	「三宅島 Crayon ~みやけじまクレヨン~」	一般社団法人三宅島観光協会
6		日本での旅の思い出は千代田から! 千代田の魅力体験ツアー「Chiyoda Pop & Attractive Tour」 & 情報発信センター「Chiyoda Information Station」 実証事業	一般社団法人むらまち結び
7		木材特性を利用した木の町新木場の特産品・PR観光拠点創 出事業「新木場UMIDOKO」	NPO法人 国産材
8		北斎漫画を活かしたまち歩き観光推進事業	一般社団法人墨田区観光協会
9		EAST TOKYO 観光ブランド化及び旅行商品造成	一般社団法人墨田区観光協会
10	広域	東急池上線地域における"生活に根差した名所"ツアー	東京急行電鉄株式会社

平成29年度地域資源発掘型実証プログラム事業 第2回採択案件

	区分	十成23 中度 地域員 原光 伽 至 夫 証 ノログ ノム 争 :	企画提案者
1		『歌舞伎の街・浅草』アピール事業 浅草・歌舞伎まち歩きガイ ド認定インターンシップ制度づくりイベント	一般社団法人 浅草観光連盟
2		沢庵発祥の地!品川区 〜全国たくあんサミット〜	一般社団法人しながわ観光協会
3		我が家でYOUをおもてなし!~日本人のホスピタリティ体験プログラム~	公益財団法人世田谷区産業振興公社
4		武蔵野市お宝発掘鑑定会〜漫画・アニメ・アート編	一般社団法人 武蔵野市観光機構
5	単城	伊豆大島ジオパークにおけるドローンの利活用実証実験事業	一般社団法人大島観光協会
6	7.94	~美肌の素「トビウオ」料理でおもてなし 八丈島の旅プラン~	一般社団法人八丈島観光協会
7		芸能の祭典 八丈名流祭	一般社団法人八丈島観光協会/ 八丈島文化協会/東京新聞
8		若おかみプロデュースによる おもてなし島スイーツの開発	特定非営利活動法人神津島観光協会
9		「郷土芸能・菅生歌舞伎であきる野市の魅力発信・誘客事業」	菅生歌舞伎 菅生一座
10		多摩市の"橋"をめぐる魅力発掘プロジェクト 〜ありふれた日常風景を観光資源へ〜	京王電鉄株式会社

イ 多摩・島しょ魅力発信事業 〈東京都受託事業〉

多角的かつ集中的なプロモーションにより、多摩・島しょ地域へのさらなる誘客を図った。

- ① WEB 等メディアと紙媒体による情報発信
 - ・観光 PR 映像の制作及び放映

制作: 国内向けキャンペーンテーマ「TOKYO new LUXURY」に基づき PR 映像を多摩・ 島しょそれぞれで制作(30 秒間もの $\times 2$ 本)

放映:国内向け映像:Facebook、Instagram や Youtube にて放映。

海外向け映像:平成28年度に制作した5種類の映像を成田空港のサイネージ、 エアポートリムジンバス等にて放映

- ・TAMASHIMA ロゴ: 平成 28 年度に制作をした事業オリジナルのロゴを中国、台湾、韓国、 シンガポールにおいて商標登録
- ・観光 PR パンフレットの制作及び配布

制作:平成28年度に制作したパンフレットにモデルコースを追加。

英語、中国語(繁体字)各 3,000 部制作。 日本語版 5,000 部制作。

配布:9月より、「東京観光情報センター(東京都庁、羽田空港、京成上野、多摩及びバスタ新宿)」や、現地の旅行博覧会等において配布。 また、デジタルパンフレット化し、WEBサイトに格納。

・テレビ番組の制作及び放映

制作:多摩・島しょ地域へのインバウンド観光を喚起するテレビ番組を制作

放映:1月に中国、2月に台湾でそれぞれ制作したものを放映

・ブロガー等の派遣

ブロガー等による情報発信を行うと共に、当該事業の Web サイトに掲載するため、以下の内容でブロガー等を各地域に派遣

国内ブロガー:多摩・島しょ地域(18地域)に延べ16名を派遣海外ブロガー:多摩・島しょ地域(18地域)に延べ18名を派遣

・WEBサイトの構築及び運営

既存の「tokyo reporter 島旅&山旅」サイトをリニューアルし、「TAMASHIMA.tokyo」として8月7日に公開。

国内向け :目的別スポット紹介、モデルコース「TOKYO new LUXURY」、モデル

コース「自然公園」、イベント情報、新着情報のページ等を新たに制作。

海外(4言語):モデルコース、イベント情報、新着情報のページ等を新たに制作。

・SNS 情報発信の実施

Facebook と Instagram の公式アカウントを日本語版・英語版で開設。 8月7日より運営を開始し、基本的に週1~2回投稿を実施。

・雑誌等への広告掲載

国内旅行者向け :アクティブな 20~30 代の女性を主なターゲットとした雑誌「Hanako」

において、2Pの記事広告を3回掲出(9月発売号:多摩・島しょ地域

2月発売号:島しょ地域3月発売号:多摩地域)

外国人旅行者向け: ラグジュアリーに旅を楽しむ「TRAVEL + LEISURE Southeast Asia」 の日本特集号にて多摩・島の記事広告 2P を掲出(2 月発売号/販売国: マレーシア、シンガポール、香港、タイ、インドネシア、フィリピン)

・Google Map ストリートビュー等の充実 多摩・島しょ地域内の画像を、Google Map ストリートビューに掲載し、Web サイトから も閲覧可能とした。

② 誘客促進イベントの実施

大規模旅行博へのブース出展や SNS を活用した誘客イベント等を実施した。

・ツーリズム EXPO ジャパン 2017 へのブース出展

出展スペース:16(うち6スペースは別の東京都委託事業において、都内自治体の特

産品を展示・販売)

会期 : 平成 29 年 9 月 22 日~24 日

場所:東京ビッグサイト

・Instameet TAMASHIMA の開催

東アジアを中心とした外国人を対象に、Instagram 上に投稿することを目的にした撮影イベントを八丈島、奥多摩で開催。

ア)Instameet HACHIJO 期間:平成29年10月14日~15日

イ) Instameet 奥多摩 期間: 平成29年11月11日

- ・Web マガジン「MATCHA」で上記 Instancet のレポートを発信。
- ウ 多摩・島しょ地域旅行商品造成・販売支援事業 *〈東京都出資金事業・一部受託事業〉* インバウンド観光の効果を多摩・島しょにも波及させるため、外国人が海外でも購入可能な 多摩・島しょ地域の着地型旅行商品造成の推進を実施した。
 - ① 旅行商品の造成支援

民間旅行事業者を対象とした、多摩・島しょ地域を周遊する新規性のある着地型旅行商品等やオプショナルツアーの造成・販売を促進に対して造成に係る経費の一部について助成。

交付決定事業者数 : 5 社 交付決定事業数 : 5 件

エ 多摩・島しょ地域内観光交通支援事業 〈東京都受託事業〉

地域内の移動アクセス手段が比較的不便な多摩地域・島しょ地域の観光資源を活かした交通 手段確保型旅行商品のモニターツアーと、モニターツアーの結果を活用した実証実験を企画・ 実施した。

① モニターツアーの実施

ア) 西多摩地域モニターツアー【実施地域:羽村・瑞穂・福生】

・関係者向け

実施日程:平成29年8月22日~23日 参加者数:24名

一般旅行者向け

実施日程:平成29年10月28日~29日 参加者数:20名

- イ) 東多摩地域モニターツアー【実施地域:武蔵野市・小金井市・調布市・稲城市】
 - ・関係者向け

実施日程: 平成 29 年 7 月 26 日~27 日 参加者数: 22 名

一般旅行者向け

実施日程: 平成 29 年 12 月 9 日~10 日 参加者数: 22 名

ウ) 島しょ地域モニターツアー【実施地域:新島・式根島】

・事業者向け

実施日程: 平成 29 年 11 月 14 日~17 日 参加者数: 21 名

一般旅行者向け

実施日程: 平成 29 年 11 月 17 日~19 日 参加者数: 18 名

② 実証実験の実施

モニターツアーの結果を活用し、以下のモビリティを貸し出し、実際の導入に向けて利用 ニーズ等の検証を行った。

<東多摩地域 実施概要>

モビリティ:アシスト付き電動自転車 実施日程 : 平成 29 年 11 月 11 日~26 日

実施地域 : 稲城市

利用者数 : 15 人 (利用料 1,000 円/日)

<島しょ地域 実施概要>

モビリティ:ウォーキングバイシクル

実施日程 : 平成 29 年 11 月 23 日~1 月 14 日

実施地域 :新島

利用者数 : 11 人(利用料 1,000 円/4H)

モビリティ:超小型モビリティ

実施日程 : 平成 29 年 11 月 20 日~12 月 3 日

実施地域 : 式根島

利用者数 : 49 人 (利用料 無料/3H)

オ 島しょ地域誘客促進事業 <東京都出資金事業>

島しょ地域で宿泊や観光に利用可能な特典付共通旅行券を販売することにより、島しょ地域のPR及び島外旅行者の島しょ地域への持続的な送客と、現地での観光関連の消費を促進した。

① プレミアム付電子宿泊旅行商品券「しまぽ通貨」の販売

事業概要: Web にて 10,000 円分のプレミアム付き宿泊旅行商品券を 7,000 円で販売

スマートフォン/携帯電話で利用

販売期間:平成29年10月2日~平成30年3月31日

販売数 : 14,393 セット/143,930,000 円

登録者数: 5,658 人 加盟店数: 256 店舗

② しまぽタイアップツアーの実施

事業概要:旅行会社で購入する島しょ地域への宿泊旅行に対し1泊3,000円の割引を行う。

実施期間: 平成29年11月1日~平成30年3月31日

実 績:宿泊旅行 8,942 泊

旅行会社数:16社

カ 島しょ地域を活用した縁結び観光プロジェクト<東京都出資金事業>

「婚活」やお見合いを目的とした、船舶で島しょ地域を観光する旅行商品の造成・販売促進を実施するとともに、 $20\sim30$ 歳代の女性を対象とした PR 冊子を作成・配布。また、同年代層をターゲットとしたメディアでの Web による PR を実施した。

① 旅行商品の造成支援

民間旅行事業者を対象に、「婚活」やお見合いを目的とした、船舶で島しょ地域を観光する旅行商品造成に対して造成・広報に係る経費の一部について助成。

交付決定事業者数 : 8 社 交付決定事業数 : 1 7 件

② モニターツアーの実施

ア) 大島モニターツアー

実施日程:平成29年7月5日~6日(1泊2日) 参加者数:8名

イ)神津島モニターツアー

実施日程: 平成 29 年 10 月 12 日~14 日 参加者数: 15 名

③ P R プロモーション

ア) 観光 PR パンフレットの制作及び配布

制作:10万部

配布:雑誌 OZ magazine への中綴の他、「東京観光情報センター(東京都庁、羽田空港、京成上野及びバスタ新宿)」や、各島観光協会等で配布

イ) Web プロモーション

OZmall に特集ページを作成し、上記冊子のダウンロード及び助成対象ツアーの PR を 実施

(3) 観光まちづくりの支援事業の実施

ア 地域における観光まちづくりの支援 <東京都受託事業>

① 観光活性化フォーラムの開催

都内の観光行政・観光協会・観光関連事業者等を対象として、地域の魅力を活かした観光振興への取組を支援する目的で2部構成にて実施。第1部では地域の観光活性化についての講演と東京都事業を活用した取組の事例発表を行い、第2部では情報交換や商談を行う「観光情報交換会」及び「東京都観光まちづくりアドバイザー個別相談会」を実施。

開催日: 平成30年2月7日(水)

会 場:サピアタワー5階 ステーションコンファレンス東京

来場者数:218名

第1部 講演会:13:05~15:20

ア) 基調講演

「2020年以降を見据えたこれからの観光まちづくり」

講演者:山田五郎氏

イ) 地域の取組事例発表講演

東京都事業(地域資源発掘型実証プログラム事業等)活用者による取組事例紹介

第2部 観光情報交換会・相談会:15:30~18:00

【観光情報交換会】

希望する観光協会・観光行政等が個別にブースを設け、主に各種メディアや旅行会社を対象として、情報交換や商談を行う場を設定

・出展団体(自治体・観光協会等):30団体

【東京都観光まちづくりアドバイザー個別相談会・ミニセミナー】

観光まちづくりアドバイザーによる相談会ブースを設け、希望する観光関連団体との個別相談会を実施。さらに、「ミニセミナー」では、アドバイザーが普段の活動の中でどのように課題を解決していくのか、得意とする分野を中心に体験型のワークショップを行った。

② 学生インターン事業

教育機関が有する人材や知見を事業運営に活用するとともに、将来の地域活性化の新たな担い手を育成するため、都内観光系大学等の学生を観光協会等に派遣した。

◇平成29年度学生インターンシップ実施状況一覧

No.	派遣先	インターンシップ 実施期間	人数	大学名	学部・学科
1	一般社団法人 墨田区観光協会	10日間 (8/1~8/18)	1	明治大学	政治経済学部 地域行政学科
2	一般社団法人 新宿観光振興協会	10日間 (8/4~8/21)	1	杏林大学	外国語学部 英語学科
3	特定非営利活動法人 神津島観光協会	16日間 (8/7~8/28)	1	帝京大学	外国語学部 外国語学科 中国語コース
4	一般社団法人	20日間 (8/7~9/1)	1	拓殖大学	国際学部 国際学科 国際観光コース
5	一般社団法人 中野区観光協会	15日間 (8/8~9/14)	1	杏林大学	外国語学部 観光交流文化学科
6	一般社団法人 三宅島観光協会	20日間 (8/12~9/6)	1	多摩大学	経営情報学部 事業構想学科
7	一般財団法人 足立区観光交流協会	10日間 (8/15~8/31)	1	大妻女子大学	比較文化学部 比較文化学科
8	一般社団法人 小笠原母島観光協会	10日間 (9/14~9/25)	1	東洋大学	国際地域学部 国際観光学科
9	一般社団法人 東京北区観光協会	20日間 (12/4~1/31)	1	目白大学	社会学部 メディア表現学科
10	一般社団法人 昭島観光まちづくり協会	15日間 (2/13~3/9)	1	川村学園女子大学	生活創造学部 観光文化学科

③ 観光人材育成支援事業

地域の観光振興をリード・コーディネートしていくことができる人材を育成するため、地域の観光振興を担う観光協会等に対して多面的に人材育成研修を実施した。

(1)全体研修(全3回)

第1回 「観光戦略策定のポイントと、観光推進組織の役割と実践」

日時:11月8日 13:00~17:30 会場:日本交通公社 参加者:6名

第2回 「外国人旅行者の実態と、地域で取り組むおもてなし」

日時:11月16日 13:00~17:30 会場:日本交通公社 参加者:9名

第3回 「観光マーケティングの基礎と。先進地域での取組」

日時:12月6日 13:00~17:30 会場:日本交通公社 参加者:7名

(2)提案型研修(全2回)

第4回 「観光プロモーションの基礎と実践~知名度向上、誘客促進に向けて」

日時:12月11日 13:00~17:30 会場:日本交通公社 参加者:8名

第5回 「旅行市場の変化と、ITマーケティング、SNSの効果的活用」

日時:1月17日 13:00~17:30 会場:日本交通公社 参加者:9名

(3)オーダーメイド型研修(全3回)

第6回 「人を活かし、街を活かす、新しい観光の考え方~まち歩きの実践」

日時:1月29日(月) 13:00~17:30 会場:日本交通公社 参加者:12名

第7回 「"生活観光"を考える~身近な資源の活かし方、商店街との連携」

日時:2月16日(金)13:00~17:30 会場:古民家カフェ連月(大田区)参加者:15名

第8回 「外国人向け体験プログラムの商品化、事業化の視点」

日時:3月1日(木)13:10~17:30 集合場所:レンタルプレイスなかぎん(中央区)

参加者:7名

イ 水辺のにぎわい創出事業 〈東京都出資金事業〉

観光関連団体や水辺活動団体等が行う水辺のにぎわいを創出する取組を支援した。

平成29年度 水辺のにぎわい創出事業 採択案件一覧

	170001720172017	71 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
No	申請団体	助成事業名
1	一般社団法人 天王洲・キャナルサイド活性化協会	天王洲キャナルフェス2017夏
2	一般社団法人 隅田川有効活用推進協議会	「隅田川で楽しみ、親しむ 江戸の川端文化体験」事業
3	一般社団法人 天王洲・キャナルサイド活性化協会	世界平和を1ピースの花びらに託して 「フラワーピース2017 in 天王洲」

ウ 春・秋のライトアップモデル助成 <東京都出資金事業>

観光協会等が行う春や秋の自然などを活用したライトアップの事業を支援した。

平成29年度 秋のライトアップモデル事業費助成金 採択案件一覧

No	申請団体	助成事業名
1	一般財団法人 公園財団	秋の紅葉ライトアップ -ひごあかり-
2	一般社団法人 浅草観光連盟	隅田公園展望広場・北側 ライトアップモデル事業
3	一般社団法人 奥浅草観光協会	奥浅草 山谷堀紅葉回廊 (さんやぼりこうようかいろう)
4	早稲田商店会	甘泉園公園・水稲荷神社 紅葉のライトアップ
5	銀座みゆき通り美化会	銀座みゆき通りライトアップ事業
6	世田谷区駅前 商店街振興組合	世田谷通り銀杏のライトアップ事業

平成29年度 春のライトアップモデル事業費助成金 採択案件一覧

No	申請団体	助成事業名
1	一般社団法人 東京北区観光協会	一般社団法人 北区観光協会PRイベント 「音無親水公園ライトアップ事業」
2	板橋区観光協会	石神井川の桜並木ライトアップ
3	都立大学西口商店街 富志美会	都立大学駅前 桜並木ライトアップ 桜と川と街をつなぐあかり
4	深川観光協会	お江戸深川さくらまつりライトアップ事業
5	NPO法人 国立市観光 まちづくり協会	くにたち桜ライトアップ2018
6	中目黒駅前商店街 振興組合	中目黒桜ライトアップ2018

(4) 東京フィルムコミッション「東京ロケーションボックス」 <東京都受託事業>

都内における映画、ドラマ等撮影に係る各種の相談窓口として、「東京ロケーションボックス」を運営した。制作会社等に対し、ロケ地情報や撮影許可に関する施設との調整、警察・消防への許可申請手続きの指導・助言などの支援を実施し、年間の問い合わせ件数は 3,392 件で、うち支援件数は 1,030 件だった。

また、支援作品を活用したパネル展や展示会への出展等の各種PR事業を行った。

ア 対応実績

		映画		テレビ番組				ミュー	その他			
		劇場映画	その他映画	T V ドラ マ	その他 TV番 組	СМ	Web 映像	スチール	ジック ビデオ	のジャ ンル	撮影 以外	合計
問	合件数	388	65	396	585	323	156	159	128	167	1, 025	3, 392
支	援件数	314	29	291	115	99	35	35	45	67	0	1, 030
許	都立	5	0	5	8	1	1	2	2	1	0	25
可件	その他	19	4	31	19	12	4	9	8	9	0	115
数	計	24	4	36	27	13	5	11	10	10	0	140

イ PR事業

【主催】

○アートワーク台座パネル展(2回開催)

実施日:平成29年7月21日~24日 平成30年3月13日~16日

会場:都庁第一本庁舎1階アートワーク台座

○TOKYO LOCATION BOX PRESS (季刊情報紙) 発行

発行部数:春、夏、秋、冬 各4,000部

○TLB チャンネル (年間 10 回) 配信

【出展】

○「東京味わいフェスタ」

実施日:平成29年10月6日~8日 会 場: 丸ビル マルキューブ ○「ジャパンコンテンツショーケース 2017」

実施日: 平成 29 年 10 月 24 日~26 日

会場:サンシャインシティ コンベンションセンター

○「JFC 全国ロケ地フェア 2018 」

実施日: 平成30年1月24日

会場:東劇ビル(築地)

○「ふるさと祭り東京 2018」

実施日: 平成30年1月12日~21日

会 場:東京ドーム

○「観光情報交換会」

実施日:平成30年2月7日

会 場:サピアタワー ステーションコンファレンス東京

ウ 学生等の受け入れ

○石川県立金沢錦丘中学校

実施日: 平成 29 年 10 月 26 日

内 容:企業訪問学習として東京ロケーションボックス事業の説明

工 啓蒙啓発

○関東圏ロケ受入組織連絡会議

実施日: 平成 29 年 10 月 12 日

会 場:都庁会議室

○フィルムコミッション (FC) 活用説明会

実施日: 平成30年2月13日

会 場:東京観光財団 会議室

内 容:映像制作者へのフィルムコミッション活用促進セミナー

協 力:警視庁

オ 国際交流・ネットワーク構築

○AFCI ロケーションズ&グローバルファイナンスショウ (アメリカ カリフォルニア州 バーバンク)

平成 29 年 4 月 5 日~10 日

○ロケーションエキスポ ロサンゼルス Film Market&Conference 平成 29 年 11 月 2 日~6 日

○香港フィルマート2018 平成30年3月19日~20日

(5) 東京シティガイド検定の実施

国内・海外からの訪都旅行者に対して東京の魅力を紹介できる人材の育成を目的として、「東京シティガイド検定」を実施した。

ア 第15回東京シティガイド検定試験

実 施 日 平成 29 年 11 月 26 日

会 場 明治学院大学白金キャンパス

受験者数 1,089 名 (実受験者数 991 名)

合格者数711名合格率71.7%

イ 試験対策セミナー

実施日 平成29年10月29日及び11月12日

会 場 東京しごとセンター 講堂

参加人数 計 220 名

ウ 検定委員会

第1回 平成29年6月26日

第 2 回 平成 29 年 10 月 20 日

(6) 被災地応援ツアーの実施 〈東京都出資金〉

東日本大震災等により大きな被害を受けた福島県の復興を支援するため、旅行事業者と連携して「福島被災地応援ツアー」を実施した。また、震災により大幅に減少した福島県の教育旅行復興に向け、福島県が実施する事業と連携し、都内の学校が実施する福島県への教育旅行に対して、バス料金に対する経費の一部補助を実施した。

ア 宿泊・日帰り旅行支援

事 業 概 要:旅行会社で購入する東京都から福島県への宿泊旅行と日帰り旅行に対し、宿泊

旅行1泊3,000円、日帰り旅行1人1,500円の割引を行う。

実 施 期 間: 平成 29 年 4 月 1 日~平成 30 年 3 月 31 日

実 績:宿泊旅行 17,907 泊、日帰り旅行 4,928 人

旅行会社数:135社(東京都内の旅行会社)

イ 福島県教育旅行復興支援

事業概要:都内の学校が実施する福島県への宿泊を伴う教育旅行に対し、震災後初めて実施するものに対しては5万円、継続的に実施しているものへは3万円の範囲内でバスに要する経費の1/2を支援する。

実 施 期 間: 平成 29 年 4 月 1 日~平成 30 年 3 月 31 日

実 績:初めて実施 7回 継続実施 24回 計31回

(7) 受入環境インフラの整備 〈東京都出資金事業〉

ア 観光インフラ整備支援事業

① 区市町村観光インフラ整備支援

事業概要 多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、区市町村が計画的に行う 外国人旅行者向けの受入環境の整備に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費の2分の1以内 補助限度額 1億円(1区市町村当たり)

② 観光施設の国際化支援

事業概要 多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、民間観光施設が実施する 外国人旅行者向けの受入環境整備に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費の2分の1以内補助限度額 10,000千円(1施設当たり)

イ 観光バス等バリアフリー化支援事業

① 観光バスのバリアフリー化支援

事業概要 高齢者や障害者等も含め誰もが安心して都内観光を楽しめるよう、主要な交通インフラである観光バスについて、乗降用リフト付車両の導入に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費について、1,000万円を限度(1台当たり)

② 観光バス乗降場等のバリアフリー化支援

事業概要 高齢者や障害者等も含め誰もが安心して都内観光を楽しめる環境を整備する ため、区市町村等が実施するリフト付観光バスの乗降場等の造成などの取組 に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費の3分の2以内 補助限度額 30,000 千円 (1区市町村当たり)

ウ アクセシブル・ツーリズムの推進

事業概要 障害者や高齢者等も含め誰もが安心して都内観光を楽しめる環境を整備するため、民間事業者が実施する従業員向け接遇スキルの向上に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費の2分の1以内 補助限度額 1,500千円(1事業者当たり)

エ 宿泊施設のバリアフリー化支援事業

事業概要 旅行者が安全かつ安心して利用できるよう、民間宿泊施設が実施するバリア フリー化に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額施設や設備のバリアフリー化整備(改修等)500 万円コニバーサルデザインルームの改修700 万円コンサルティング25 万円バリアフリー化のための備品購入200 万円

オ 宿泊施設における安全・安心向上事業

事業概要 宿泊施設に滞在する旅行者の安全・安心を確保するため、民間宿泊施設が実施する防犯カメラ等設備の導入に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 900千円 (1施設当たり最大2か所)

カ 観光経営・インバウンド対応力強化事業

① 観光経営力強化事業

事業概要 東京都内中小企業の観光関連事業者が、アドバイザーの派遣を受けて実施する、生産性向上に要するICT・設備導入や新たなサービス・商品づくり、集客・販路開拓などの取組に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費の2分の1以内 補助限度額 15,000千円(1事業者当たり)

② インバウンド対応力強化事業

○外国人旅行者の受入対応の強化

事業概要 外国人旅行者ニーズに対応した利便性や快適性を向上させるため、宿泊施設、 飲食店、小売店(免税店)等が新たに実施する受入対応強化の取組に対して、 経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 3,000 千円 (1施設当たり)

○無線LAN環境の整備

事業概要 外国人旅行者の受入環境の整備を促進するため、宿泊施設、飲食店、小売店(免税店)が実施する無線LAN環境の整備に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費の2分の1以内(1か所当たり15,000円以内)

補助限度額 宿泊施設 750千円 (1施設当たり最大50か所)

飲食店・小売店(免税店) 150千円(1施設当たり最大10か所)

キ 東京ひとり歩きサイン計画

事業概要 区市町村が行う多言語で表記した観光案内標識の整備、及び既存標識の更新 に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 新規設置 原則として補助対象経費の2分の1以内 盤面更新 補助対象経費の3分の2以内

ク デジタルサイネージを活用した観光情報ネットワーク事業

事業概要 外国人旅行者の利便性向上を目的に、街なかで観光情報などを多言語で提供する高機能型観光案内標識「DISCOVER&TOKYO」の運用管理を行った。

設置個所 19か所(新宿エリア3か所、上野エリア4か所、お台場エリア3か所、 渋谷エリア2か所、丸の内エリア3か所、秋葉原エリア2か所、 六本木エリア2か所)

提供情報 観光スポット、宿泊施設、飲食店、ATM など(各施設までの道順を表示) 対応言語 日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語

ケ 外国人旅行者に対するWi-Fi利用環境整備事業

事業概要 外国人旅行者への情報提供機能の向上を図るため、観光インフラ重点整備エリア内の区道において、観光案内標識周辺へのWi-Fi整備に対して、経費の補助を行った。

補 助 額 補助対象経費の3分の2以内

4 観光情報の発信に関する事業

(1) 東京ブランドの推進事業 〈東京都受託・負担金事業〉

旅行地としての東京を強く印象づける「東京ブランド」を確立していくため、東京ブランドを国内外に向けて広くPRし、浸透を図った。

ア 東京ブランド推進プロジェクト

民間事業者や業界団体等からの連携事業の提案を受け、東京ブランドの普及・浸透に特に効果 的だと思われる4提案に対し、都と提案者が共同で費用を支出し、連携して事業を実施した。

イ 東京ブランドの発信

東京ブランドを国内外に向けて PR していくため、ブランド管理体制を整備するとともに、東京ブランド WEB サイトを運営し、情報発信及びブランドの浸透を図った。

ウ 都民向けイベント及び広告展開等の実施

「一番搾り&TOKYO」や「LOFT&TOKYO」等都民向けイベントを実施した。

(2) ウェブサイトによる情報発信 <東京都補助金事業>

国内外の旅行客等を対象に、9言語10種類で東京の情報を継続的に発信した。

また、より有益な情報を提供するウェブサイトとして改善を図るため、外国人旅行者が必要とする情報や旅行者用向けアプリケーションの実態について調査を実施した。その調査結果を踏まえ、英語版ウェブサイトのリニューアルを行った。

さらに、バナー広告を掲載し、広告収入を確保した。

言語	アクセス数 (H29.4月~H30.3月)
総合 TOP	495, 164
日本語	21, 526, 137
英語	6, 626, 413
中国語 (簡体字)	1, 947, 835
中国語 (繁体字)	6, 931, 266
韓国語	2, 038, 052
ドイツ語	485, 688
イタリア語	486, 460
スペイン語	631, 239
フランス語	863, 423
タイ語	786, 734
その他	158, 242
合計	42, 976, 653

*アクセス数はページビューでカウント

*「その他」は、アクセス解析ソフトにより言語の区別がつかなかったページビューである。

(3) SNS による情報発信 *<東京都補助金事業>*

コミュニケーションツールや広報宣伝媒体として、その有用性が高く評価されている SNS を利用した広報宣伝活動 (Tokyo Fan Club) を運営しており、Facebook、Weibo 等において、東京都内各地の旬の観光情報を発信した。

媒体	言語	読者数(H30.3月末)
Facebook	日本語	6, 037
	英語	249, 839
	中国語 (繁体字)	157, 092
	韓国語	15, 296
	ドイツ語	6, 257

	イタリア語	22, 159
	スペイン語	31, 450
	フランス語	18, 990
	タイ語	59, 963
	インドネシア語	109, 646
	ベトナム語	23, 067
Weibo	中国語 (簡体字)	28, 508
WeChat	中国語 (簡体字)	8, 128
	※月間閲覧数	
NAVER	韓国語 ※閲覧数	15, 296
合計		751, 728

*読者数は「いいね!」をしている数をカウント

(4) ウェルカムカードの製作 <東京都補助金事業>

国内外の旅行者に東京の観光情報を提供するウェルカムカードとして、ハンディガイド及びハンディマップを9言語・10種類(日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、独語、仏語、西語、伊語及びタイ語)で作成し、東京観光情報センターをはじめ、東京観光案内窓口等で提供した。なお、旅行者の利便性や事業の効率化の観点から、29年度下半期作成分より、ハンディマップの要素をハンディガイドに統合し、新たに「TOKYO Travel Guide」として作成し配布した。

また、外国人旅行者がアプリに掲載されている伝統工芸品・伝統文化施設の見学・体験を行っている様子を映像化し、ハンディガイドのアプリケーション上で公開した。

さらに、ムスリム旅行者の受入に取り組んでいる飲食店やホテル、礼拝所を紹介したムスリム観 光客向けのパンフレットを英語で作成し、東京観光情報センター等で配布した。

加えて、広告掲載により、収入を確保した。

(5) 東京観光情報センター等の管理運営

① 東京観光情報センター 〈東京都受託事業〉

国内外の旅行者向けに東京の観光情報を提供するため、東京都庁、羽田空港、京成上野、バスタ新宿及び、6月20日に開設した多摩の5箇所で東京観光情報センターを運営した。

また、旅行者ニーズの多様化を踏まえ、情報提供機能を強化するため、東京観光情報センター東京都庁及び全国観光PRコーナーの移転・改修を実施した。

・場 所 東京都庁(都庁第一本庁舎1階)9月4日から2月20日まで移転先で運営 羽田空港(羽田空港国際線旅客ターミナルビル2階)

京成上野(京成上野駅改札口前)

バスタ新宿 (バスタ3階)

多摩 (エキュート立川3階)

- ・来場者数 合計 1,124,684 人 (うち、外国人 648,882 人/57.6%)
- ・問合せ件数 合計 619,320件(うち、外国人 455,029件/73.4%)

② 全国観光 P R コーナー 〈東京都受託事業〉

全国各地域の魅力をPRするため、観光パンフレットの配布やPRイベントの開催、特産品の販売等を行った。

- ・場 所 東京都庁(11月末迄:都庁第一本庁舎2階)12月以降は移転のため休業
- ・来場者数 合計 118,046 人 (うち、外国人 33,682 人/28.5 %)
- ・問合せ件数 合計 13,274 件 (うち、外国人 8,878 人/66.8%)
- ・イベントコーナー実施件数 35 自治体

- (6) 広域的な観光案内拠点及び東京観光案内窓口の運営支援 〈東京都受託・出資金事業〉
 - ① 広域的な観光案内拠点及び東京観光案内窓口の運営支援

都内における観光案内機能の充実を図るため、外国人旅行者が多く訪れる10地域において、都が指定した広域的な観光案内拠点2箇所と、都内の東京観光案内窓口89箇所の運営支援を新たに行った。

また、これらの施設が国内外の旅行者に対し都内の観光情報を円滑に提供できるよう、モニター付きコールセンター通訳サービスを利用できる端末の貸与やデジタルサイネージの設置等を行った。

② 広域的な観光案内拠点に対する補助金

事業概要 東京都が指定した広域的な観光案内拠点を整備・運営する事業者を対象に、広域的 な観光案内拠点の整備事業に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の3分の2以内

補助限度額 3,000 万円

③ 観光案内窓口整備支援補助金

事業概要 東京都が平成 28 年度以降に指定した東京観光案内窓口を整備・運営する事業者 を対象に、東京観光案内窓口として求められる機能の充実や必要な整備事業に対 して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の3分の2以内(区市町村は2分の1以内)

補助限度額 300 万円 (区市町村は225 万円)

(7) 観光ボランティアの管理運営 <東京都受託事業>

観光ボランティア活動を通じて、東京を訪れる外国人旅行者に東京の魅力を紹介する東京都観 光ボランティアの新規募集及び管理運営を行った。また、観光ボランティアが着用するユニフォー ムのデザインを一新した。さらに、外国人旅行者が多く訪れる臨海副都心エリア及び渋谷エリアに おいて新たに「街なか観光案内」を開始した。

新規採用観光ボランティア数:771名(ボランティア登録者数3,022名)

<各種ボランティア活動実施結果>

・街なか観光案内対応件数:126,102件・観光ガイドサービス実施件数:491件

・観光ボランティア派遣 : 15 回 (派遣者数:延べ165 名)

・都庁案内ツアー参加者数 : 3,007 名・都庁展望案内対応件数 : 19,713 名

(8) おもてなし親善大使育成塾 〈東京都受託事業〉

中高生を対象に、オリンピック・パラリンピック開催に向けた夢を育てるとともに、外国人旅行者への対応方法や東京ならではの「おもてなし」の手法を学ぶ「おもてなし親善大使育成塾」を実施するとともに、おもてなし親善大使(修了生)を対象としたフォローアップ研修等を実施した。

・おもてなし親善大使育成塾 任命者数 243名

- (9) 東京マラソン応援観光マップの作成・臨時観光案内所の設置運営
 - ① 東京マラソン応援観光マップの作成 *<東京都受託事業>* 東京マラソンコース、応援ポイント、周辺の観光スポット、イベント情報等を盛り込んだマップのデータ作成・配布を行った。

② 臨時観光案内所の設置・運営 <東京都受託事業>

東京マラソン開催に合わせて来訪した国内外の旅行者に東京の魅力を体験してもらうため、東京マラソン EXP02018 会場(東京ビッグサイト内 2/22~24)とマラソン祭り(都立芝公園 2/25)に臨時の観光案内所を設置し、東京マラソン応援観光マップの配布及び東京マラソン都内観光に関する情報提供を行った。

(10) マラソン祭りフォトコンテストの実施

東京マラソン 2018 ランナー応援イベント「マラソン祭り」(平成 30 年 2 月 25 日) にあわせ、東京都との共催により、「マラソン祭りフォトコンテスト 2018」を実施した。

作品応募総数 202 点

入賞・入選作品 金賞 2 点、銀賞 2 点、銅賞 3 点 APA 特別賞 1 点

入選9点 合計17点

(※作品展:東京都庁にて平成30年4月中旬から下旬に開催予定)

(11) 多言語メニュー作成支援ウェブサイトの運営 〈東京都受託事業〉

都内飲食店等における外国人旅行客の受入環境整備を図るため、多言語メニュー作成支援ウェブサイト「EAT 東京」を運営した。

- サイト登録店舗数 4,811店舗(平成30年3月末時点)
- ・飲食店を対象にした「EAT 東京」の普及啓発操作説明会等 参加者数 111名
- (12) TCVB 活動の広報に関する事業

インバウンド誘致やビジネスイベンツの誘致促進等に係る TCVB の活動を海外に対して効果的に PR するため、日本語版及び英語版のウェブサイトを運営した。

5 会報発行事業

- (1)会報等の発行
 - ア 「TCVB NEWS」の発行

新たなコーナーの設置やタイムリーな情報収集に努めることで、読者の期待に応える紙面づくりを行った。

- ・回数、部数 4回(季刊)、毎850部
- ・体 裁 A4サイズ6ページ、2色
- ・主な配布先 賛助会員、マスコミ、関係機関
- イ TCVBメール速報の配信

速報性を活かした情報提供サービスの充実を目指し、会員及び関係機関へ週 $1\sim2$ 回配信した。

配信回数 55 回

Ⅱ 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

都内4ヶ所(新宿、有楽町、池袋、立川)及び島しょ地域(9町村)において、東京都から受託した東京都手数料徴収業務を実施した。また、新宿郵便局長から受託した収入印紙の売りさばき業務を新宿旅券課内において行った。

収入印紙年間販売枚数 388,191件

2 ガイドマップ等の販売事業

東京観光情報センター東京都庁において、東京教育観光マップ等を販売した。

3 東京シティガイド検定 公式テキスト・過去問題等の販売事業

(1) 公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」

都内各書店、東京観光財団ホームページ、東京観光情報センター東京都庁等において、 公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」を販売した。

販売冊数:2,683冊(前年度:1,312冊)

(2) 過去問題

東京観光財団ホームページ及び東京観光情報センター東京都庁において、過去問題を販売した。 販売部数:1,938部(前年度:3,069部)

Ⅲ その他事業

1 TCVBミーティングの開催

東京の観光に関わる様々なトピックを扱うTCVBミーティングを開催した。

第1回:「訪日ロシア人観光客の動向」や「ロシア人の嗜好について」」をテーマとした講演等を 実施

(開催日:平成29年7月14日、参加実績:48社81名)

第2回:東京のナイトタイムエコノミーとインバウンドをテーマに「東京のナイトタイムエコノ ミーのポテンシャル」等の講演を実施

(開催日:平成29年10月27日、参加実績:36社50名)

第3回:「世界諸都市の特徴からみた TOKYO の強み、弱みとは?」をテーマとした講演等を実施 (開催日:平成29年11月8日、参加実績:41社59名)

第4回:「フランス・欧州人と日本人:発想と行動はこれだけ違う!!」の講演や立教大学学生企画 ツアーコンテストにおける受賞ツアーの発表を実施

(開催日:平成29年11月16日、参加実績:28社35名)

第5回:「古くて新しい銀座の魅力」をテーマに講演等を実施

(開催日:平成29年11月24日、参加実績:23社31名)

第6回:「秋の秋川渓谷で体感!~新しい西多摩の魅力と仕組みづくり~」をテーマに、現地にて

視察会や意見交換会等を実施

(開催日:平成29年11月30日、参加実績:19社20名)

第7回「インバウンド クチコミ分析について」をテーマに講演等を実施

(開催日:平成29年12月8日、参加実績:44社61名)

第8回:「観光産業におけるロボット活用の可能性!」をテーマとした講演等を実施

(開催日:平成30年1月16日、参加実績:24社28名)

第9回:「だれもが楽しめる東京へ! ~みんなで考える心のバリアフリー~」をテーマとした講演やディスカッション等を実施

(開催日:平成30年1月23日、参加実績:14社20名)

第 10 回:「インバウンドビジネスにおけるシェアリングエコノミーの可能性について」をテーマ とした講演等を実施

(開催日:平成30年3月14日、参加実績:28社36名)

第 11 回:「主催者から見た東京のユニークベニュー活用」等をテーマに講演、視察を実施

(開催日:平成30年3月20日、参加実績:29社47名)

第12回:「ハイエンドな旅行客が求める体験と情報」をテーマとした講演等を実施

(開催日:平成30年3月26日、参加実績:26社36名)

2 賛助会員情報交換会の開催

賛助会員を対象とした賛助会員情報交換会「交流の集い」を開催し、「ラグビーワールドカップと 観光へのインパクト」等をテーマとした講演会及び会員同士の交流を目的とした懇親会を実施した。 開催日:平成30年2月14日、参加者:260名(参加団体140団体)